

日本腎臓学会

男女共同ですすめる腎臓学のキャリアプラン

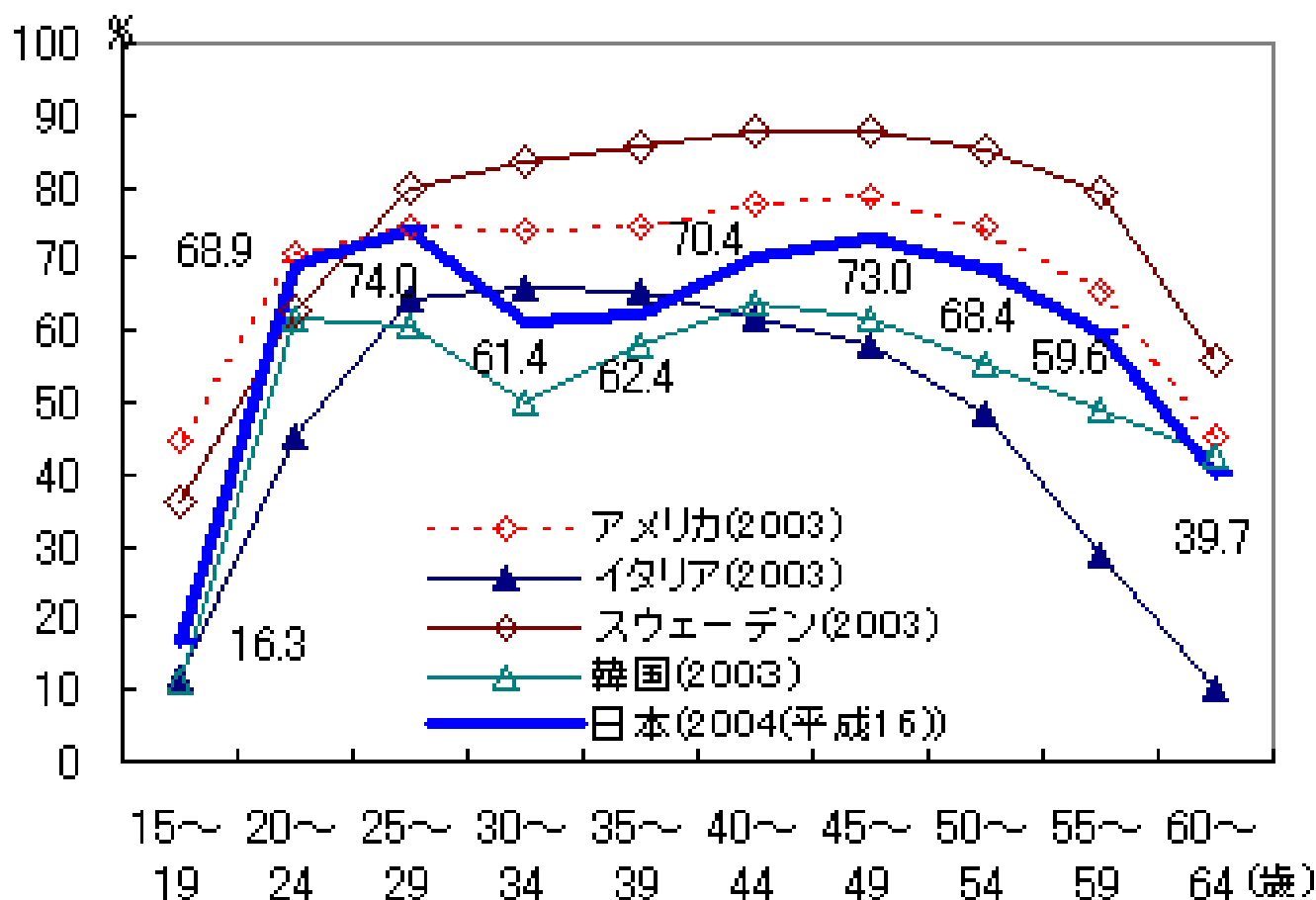
施設の支援活動：岡山大学の取組

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

腎免疫内分泌代謝内科学

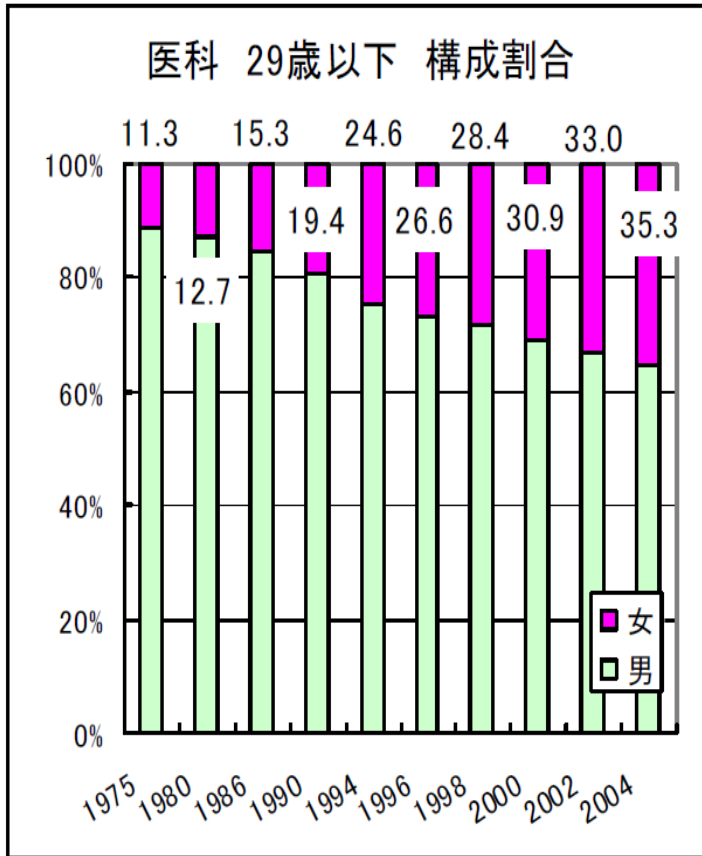
片岡 仁美、杉山 齊、榎野 博史

女性の年齢階級別労働力率の国際比較

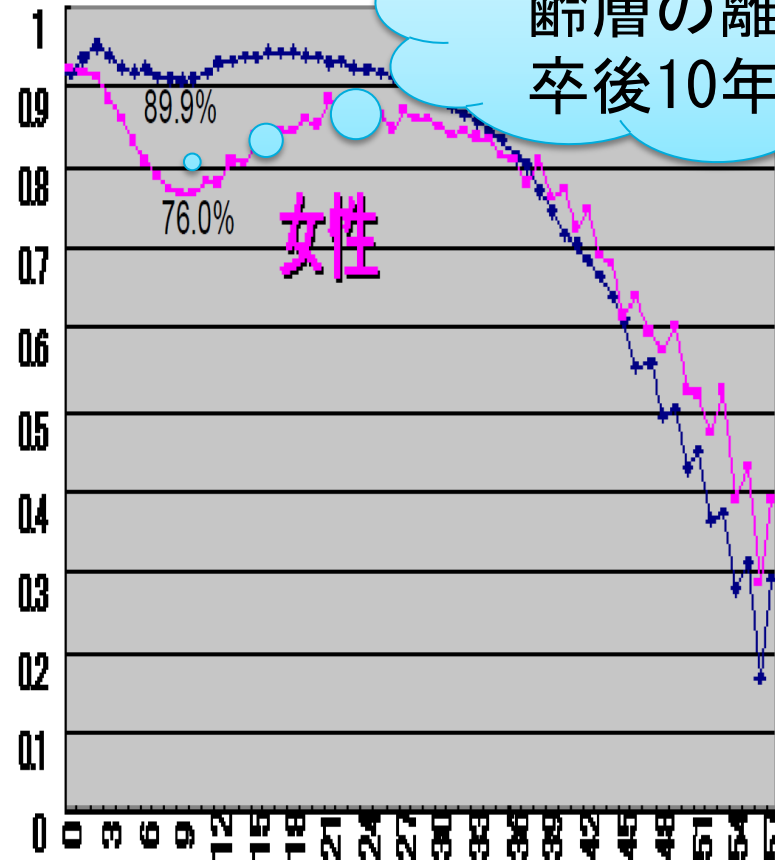


厚生労働省「平成16年版働く女性の実情」

女性医師の増加と医師にも存在するM字カーブ

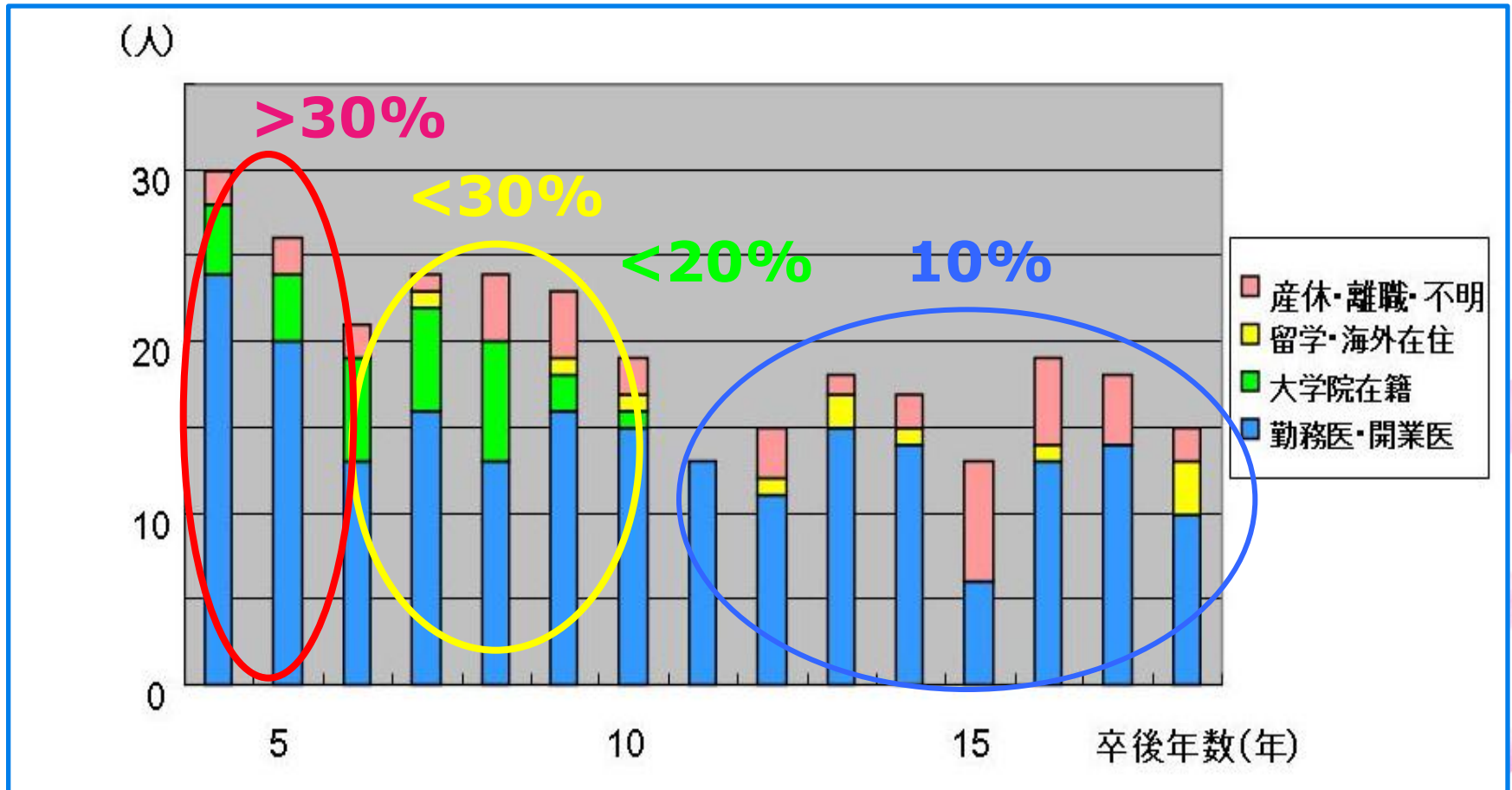


29歳以下では35.3%



女性医師が増加すると離職の影響が増加

岡山大学の女性医師増加



平成15年以降の卒業生は30%以上が女性

女性医師 育休取得わずか24% 岡山県医師会女医部会が調査 病院69%「当直ある」

育児休業を取得する女性医師は4人に1人と全業種平均を大きく下回り、子育て中でも7割の医療機関が当直勤務を課している。岡山県医師会女医部会が、女性医師と病院を対象に行った初めての調査で、こんな勤務実態が明らかになった。

女性医師が仕事と育児を両立させる厳しさが浮き彫りになっており、地方の医師不足解消の面からも、出産後働きやすい環境整備が急務となっているといえそうだ。

アンケートは岡山、倉敷市を中心とした県内516人の女性医師と、180の病院を対象に実施。179人、87病院から回答があった。

子どものいる119人の女性医師のうち、育児休業を取得したのは29人でわずか24%。厚生労働省が2006年度に調べた全業種の平均育児休業取得率88・5%の3分の1以下だった。

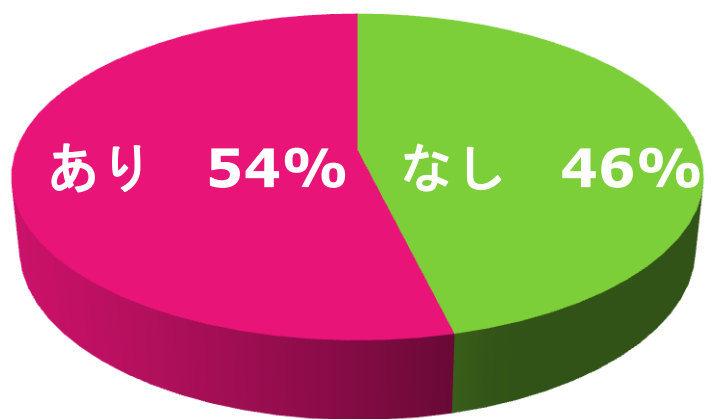
夜間・休日の当直については、69%の病院が子どものいる女性医師でも「ある」と回答。緊急時の呼び出しなどがある病院も66%に上った。仕事を分割して勤務時間を減らすワークシェアリング、始業、終業時間を自由に決められるフレックスタイム制度を設けているのは34%で、院内に託児所を設置したり、契約保育所がある病院も33%にとどまった。

岡山医療圏女性医師アンケート結果より

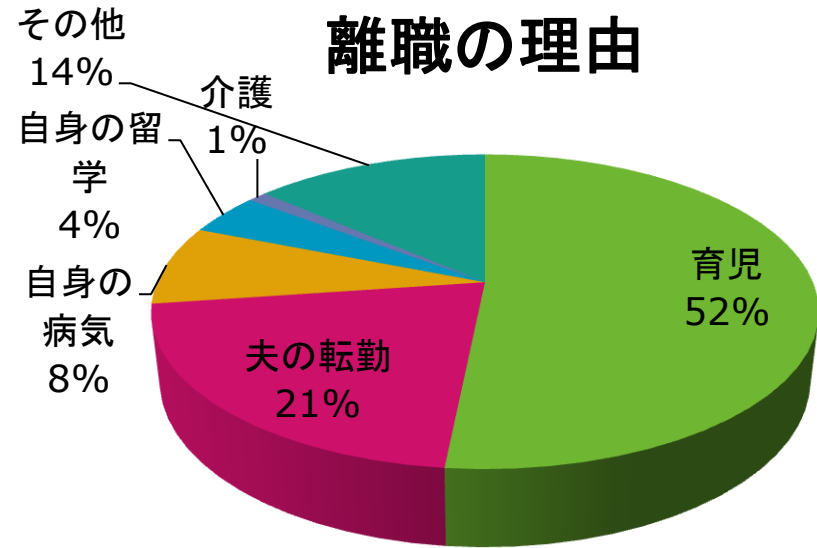
(平成21年度施行、回答数415名)

離職の経験・その理由

離職の経験



離職の理由



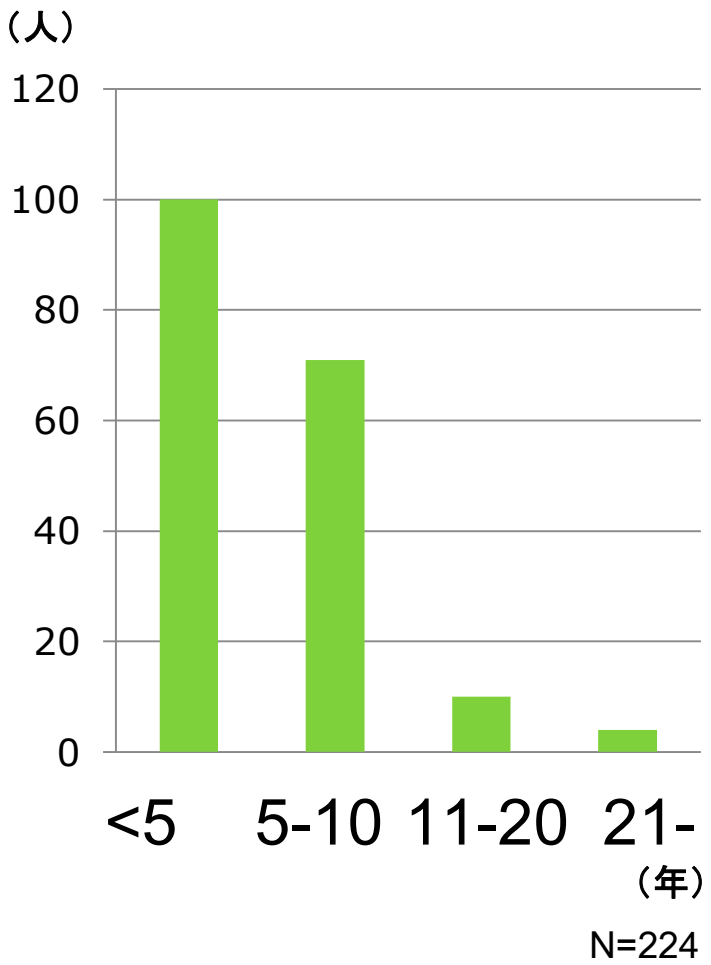
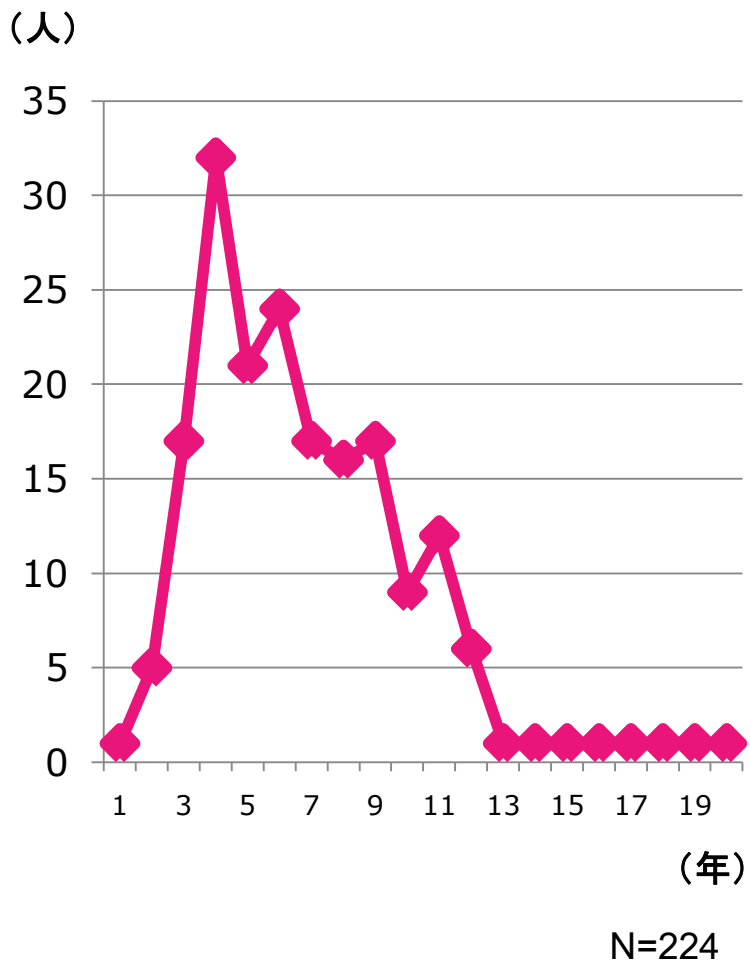
離職：無給かつ復帰時期が未定で職を離れることと定義した。産休・育休など給与が発生し、復帰時期が決まっている休業は含まない。

離職の理由は家庭が74%

岡山医療圏女性医師アンケート結果より

(平成21年度施行、回答数415名)

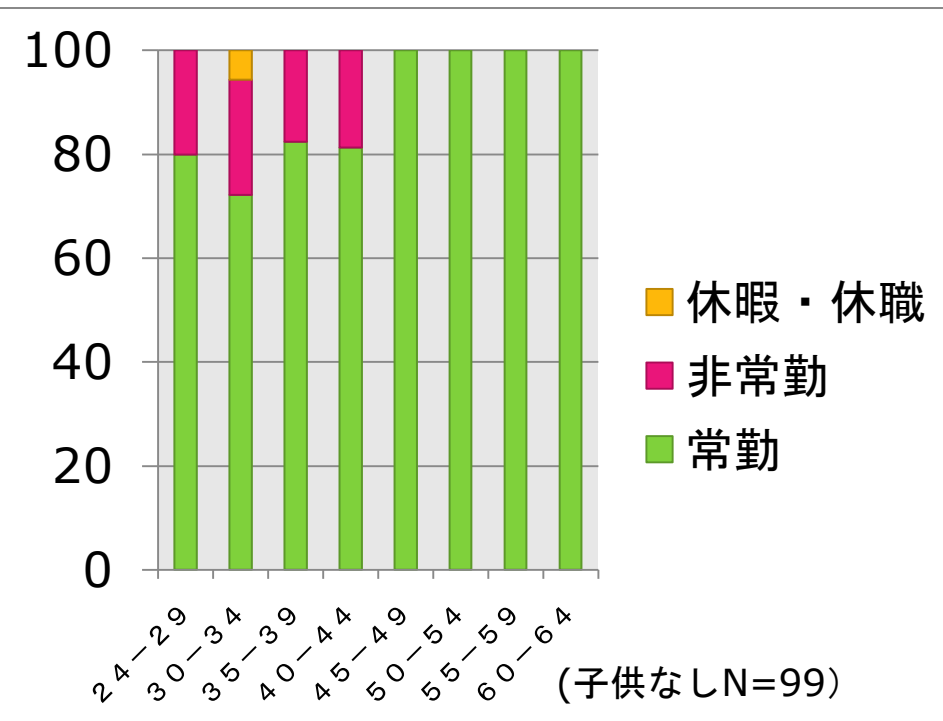
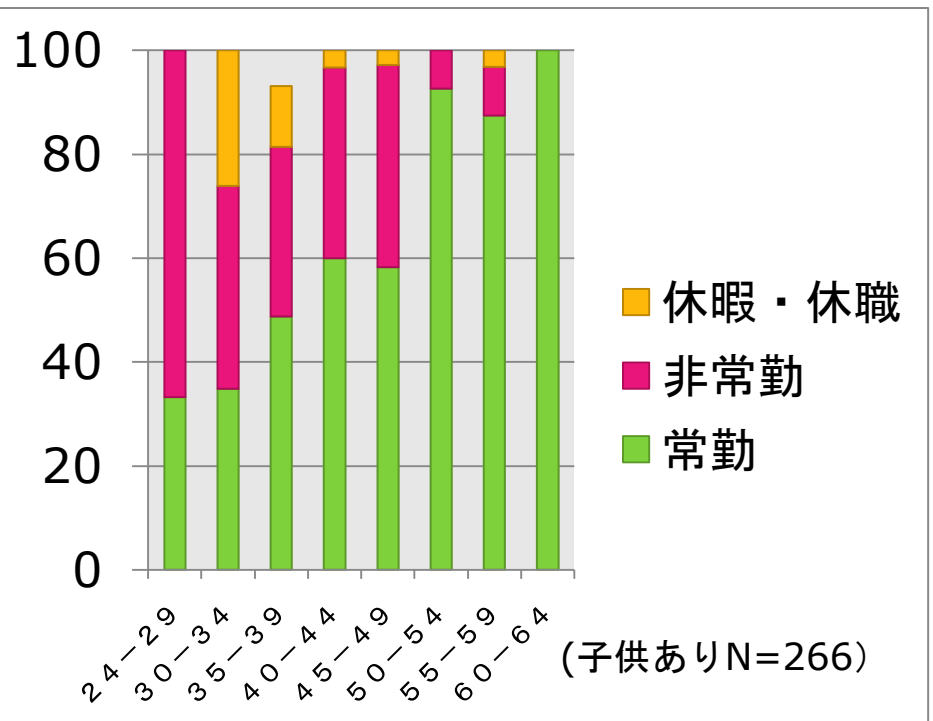
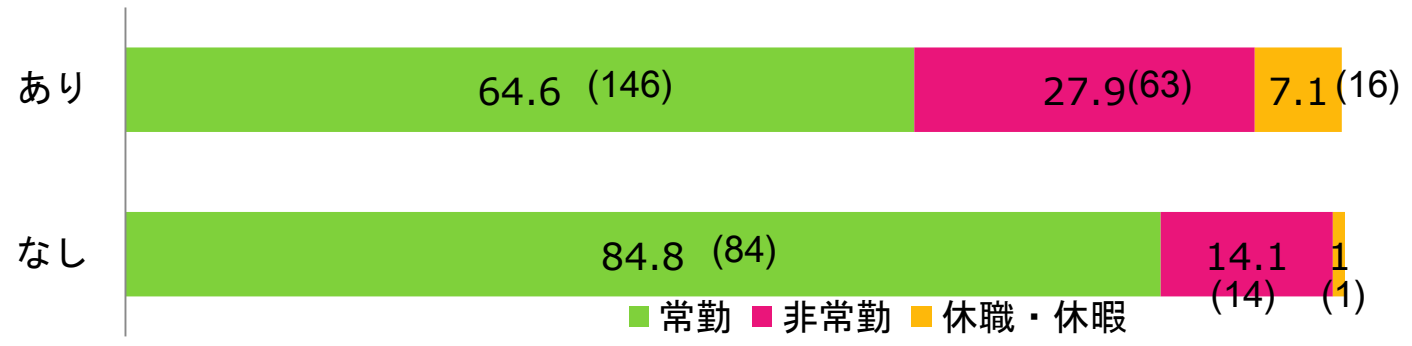
離職を経験した時期



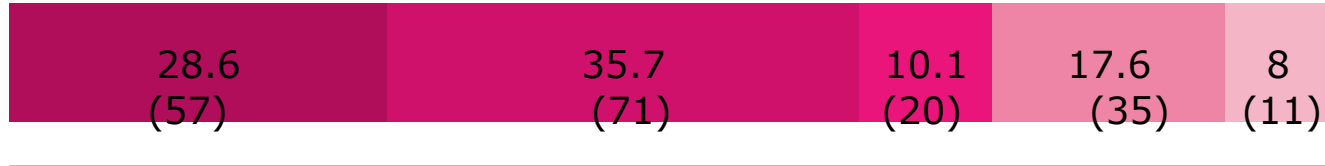
岡山医療圏女性医師アンケート結果より

(平成19年度施行、回答数397名)

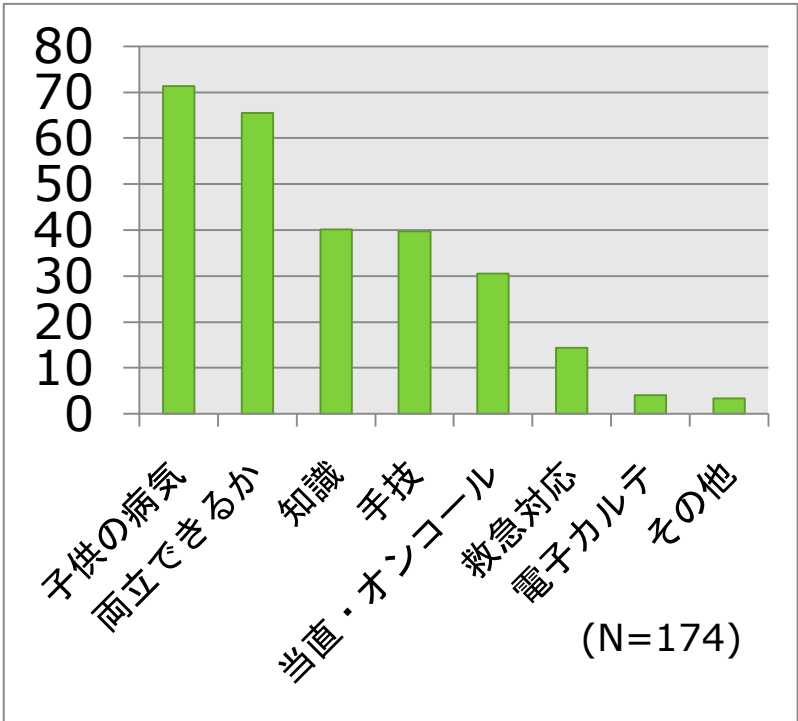
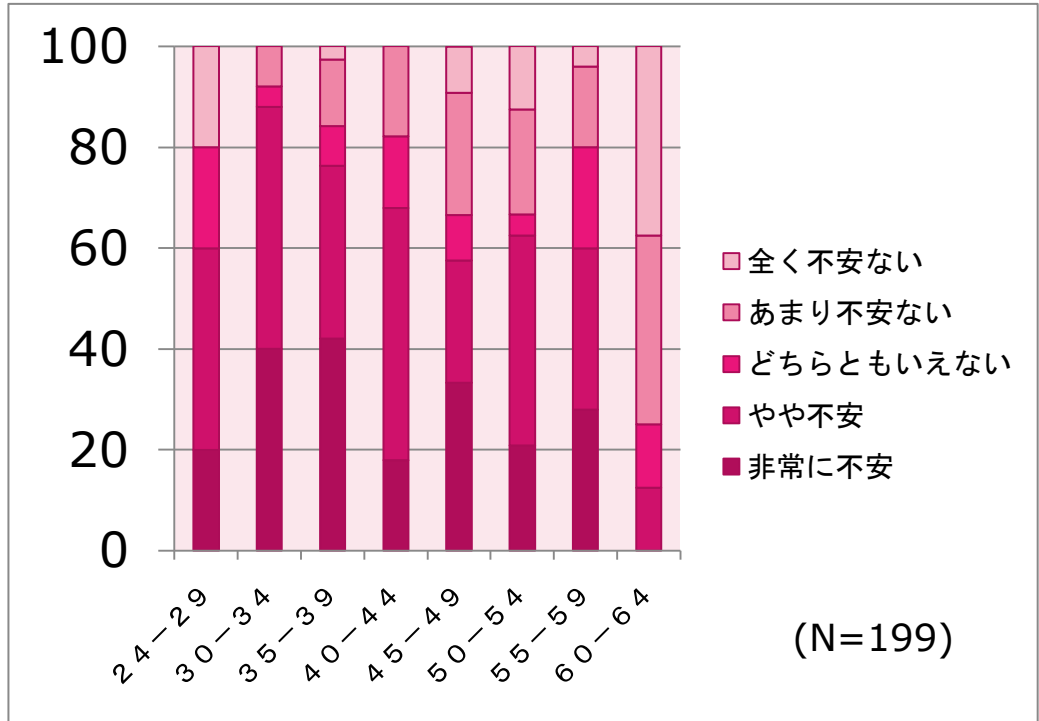
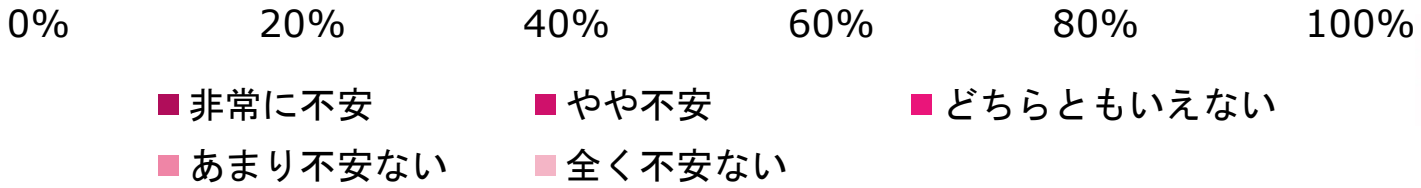
子供の有無と就労状況



復職時の不安とその要因



(N=199)

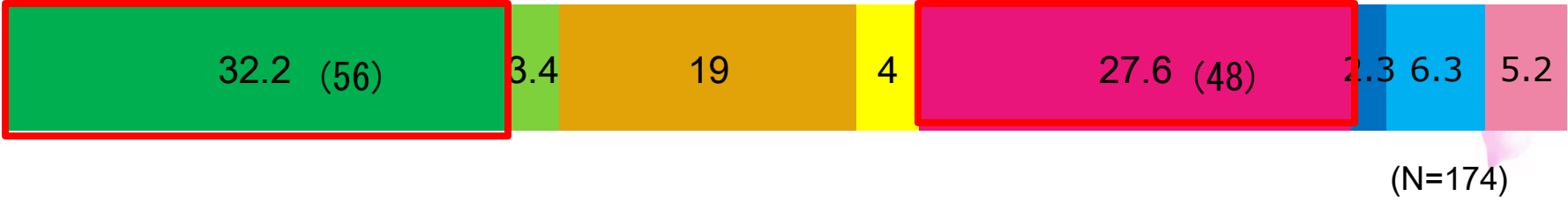


岡山医療圏女性医師アンケート結果より

(平成19年度施行、回答数397名)

産休・育休後の復職

■ 常→常同 ■ 非→非同 ■ 常→常異 ■ 非→非異 ■ 常→非 ■ 大学院 ■ 研究 ■ その他



原職復帰 35.6% (常勤医→常勤医 32.2%、非常勤医→非常勤医 3.4%)

職務内容変化 23.0% (常勤医→常勤医 19.0%、非常勤医→非常勤医 4.0%)

就労状況変化 27.6% (常勤医→非常勤医)

| 総合案内 | 報道・意見 | 政策・施策 | 電子政府 | 生涯学習・学校教育 | 科学技術・学術

Home > 教育 > 大学・短大・専門教育に関すること > 国公立大学を通じた大学教育改革の支援
医療等社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成推進プログラム

地域医療等社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成推進プログラム

[目的]

地域医療等社会的ニーズに対応したテーマ設定を行い、国公立大学から申請された取組の中から、**質の高い医療人を養成する特色ある優れた取組について財政支援を行うことにより、大学の教育の活性化を促進し、社会から求められる質の高い医療人の養成推進を図ることを目的とする。**

女性医師の増加・医師の過重労働

医療現場での医師不足が問題化

→女性医師・看護師の離職防止・復職支援は社会の要請である！

平成19年度文部科学省 医療人GP採択

女性を生かす キャリア支援計画

女性も男性も働きやすい病院づくり。

OKAYAMA UNIVERSITY HOSPITAL
岡山大学病院 全体での取り組みです



医療人として輝く!!

Summary of plan
計画の概要

「女性を生かす キャリア支援計画」
のプロジェクト概要

Activity Report
活動報告

取組の様子、各種レポート、
メディア報道などを紹介

岡山MUSCAT
最優秀者紹介サポートネットワーク

先輩から後輩へ知識と経験を伝える
サポートネットワーク

MUSCAT Will
家庭と両立可能な復職支援プログラム

復職支援プログラム各種コース、
協力医療機関を紹介

INFORMATION

キャリアセンターからのお知らせ

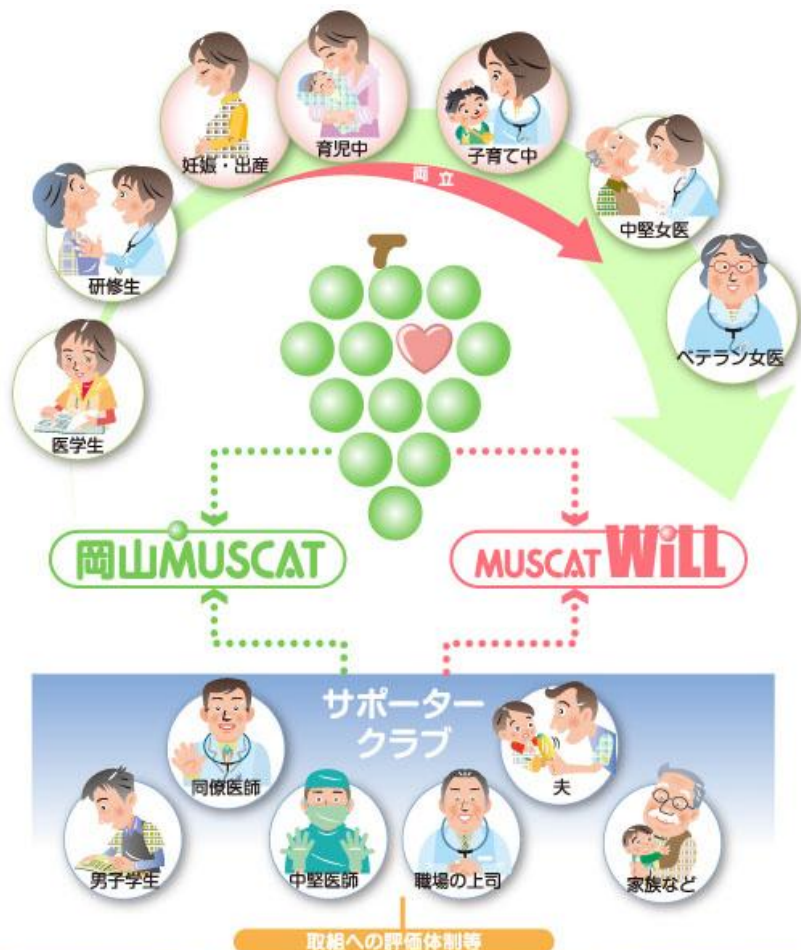
先輩から後輩へ知識と経験を伝える…
MUSCAT Meeting Special 第1回

日時 2008年9月23日(火/祝日) 12:30 受付開始



- Site Top
- HOME
- Greeting
- ごあいさつ
- Support Message
- 応援メッセージ
- Summary of Plan

活動の柱



取組への評価体制等

表彰制度 / 優秀女性医師賞・ベストサポーター賞

学生及び女性医師の就労意識調査

復職女性医師を取り巻く医療スタッフの
JSPEを用いたコミュニケーションスキル評価

復職支援会議による復職医師就労状況調査

外部評価委員会

1 岡山MUSCAT

Medical professionals and Undergraduates Support and Care Attractive women's Team

先輩から後輩へ経験と知識を伝える→離職防止

2 Muscat WILL

Women's Interactive Lifelong Learning and working

ニーズにあった復職と生涯学習

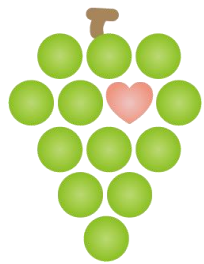
3 サポータークラブ

4 次世代育成支援

MDs and Undergraduates Support & Care Attractive women's Team
臨床現場**定着**をめざして 最適助言者紹介サポートネットワーク



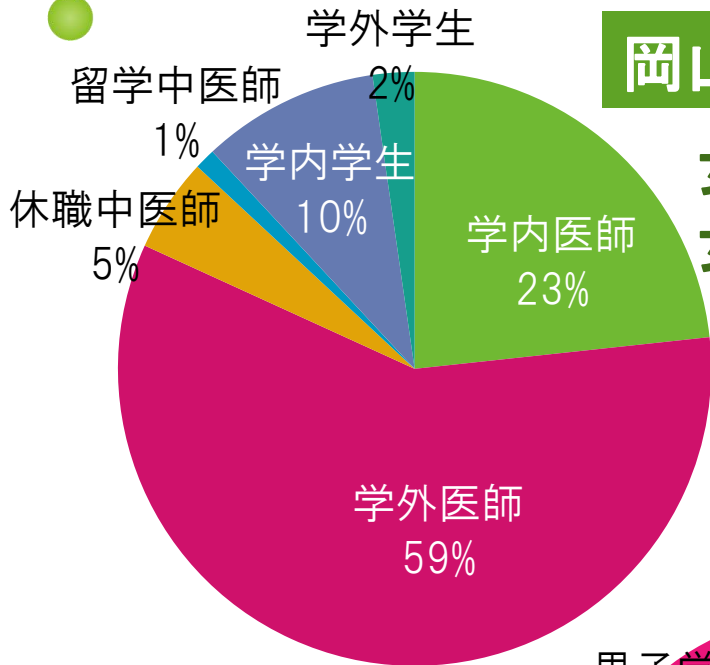
- 先輩から後輩へ知識と経験を伝える
- **ONLINE**: MUSCAT WEB
自宅で、手軽に、先輩後輩のネットワークの中で相談、意見交換できる。
- **OFFLINE**:
MUSCATミーティング
MUSCATシンポジウム
「生の声」を先輩から後輩へ。



MASCAT・サポータークラブ参加状況

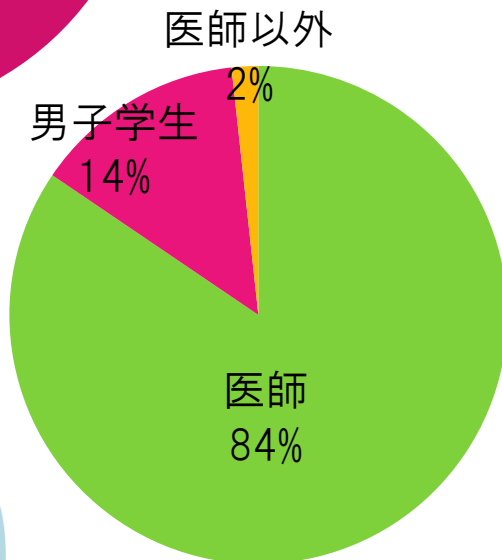
岡山MUSCAT

女性医師：155名
女子学生： 21名



女性医師・
女子医学生
176名参加!

サポータークラブ



医師合計：49名
学生合計： 8名
その他： 1名

58名参加

MUSCAT WEB

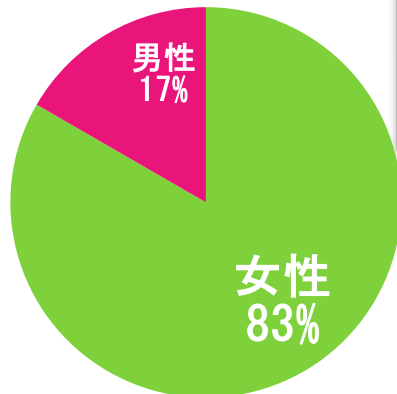
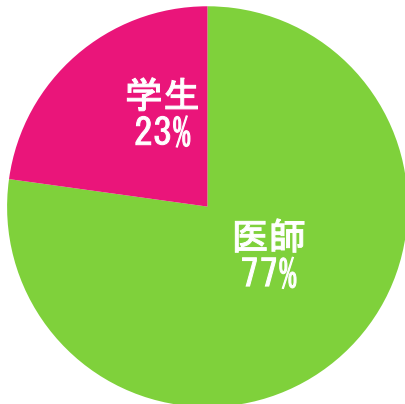
インターネット上で生活
仕事の疑問や悩みを最適
なアドバイザーに相談！
会員限定のネットワーク

参加者数:

女性医師: 75人
女子学生: 20人
男性医師: 13人
男子学生: 6人

合計
114名
参加!

参加者の内訳:





事前説明会『女性を生きかすキャリア支援計画説明会』
2007/10/22開催



第1回 『岡山MUSCAT キック・オフ ミーティング』
2007/12/13開催



第2回 『現在子育て両立中！輝く先輩のメッセージを
聞いてみよう-内科編-』 2008/2/4開催



第3回『外科系女性医師の両立メッセージを聞いてみよう！
-泌尿器科編-』 2008/4/10開催



第4回『女性医師の両立メッセージを聞いてみよう！
-小児科編-』 2008/6/5開催



第1回 MUSCATミーティングスペシャル 2008/9/23開
催



第5回 『先輩医師の両立メッセージを聞いてみよう！
-麻酔科編-』 2008/11/26開催



第6回 『先輩医師の両立メッセージを聞いてみよう！
-整形外科編-』 2009/4/16開催

MUSCATミーティング

女性医師、学生を中心に
学内教授、 市中病院院長、
休職中医師など
延べ約400名が参加!

参加者の感想 ～アンケートより

- ・学内でこんな機会がなかったので、とても参考になった。
- ・将来に対しての不安があったけど、少し安心でき、心構えができた。
- ・やっぱり体験談は大いに参考になる。

第2回MUSCATミーティング： 腎臓内科

- ・ 先輩女性医師からのメッセージ
 - ・ サポータークラブからのメッセージ
- どのように女性医師のキャリアをサポートしているか



平成19年度文部科学省 医療人GP採択

女性も男性も働きやすい病院づくり。

女性を生きかす
キャリア支援計画

岡山大学病院 全体の取り組みです

HOME 応援メッセージ 教授 横野 博史

Assistance message
応援メッセージ

岡山大学病院副院長 腎・免疫・内分泌代謝内科学
教授 横野 博史

女性医師が自分らしく働くためのサポートを

今回文部科学省の医療人GPに本学の「女性を生きかすキャリア支援計画」が選定されたことを大変嬉しく存じます。特に、腎・免疫・内分泌代謝内科は多くの女性医師が活躍している科であり、今回の計画立案者の片岡医師も当科出身です。女性医師が自分らしく働き、その才能を生かすためのサポートを当科として、また、大学病院全体として、しっかりと行って参りたいと存じます。

本計画は、女性医師・医学生のサポートネットワーク、多様な復職コースによる実技トレーニングからOn the job trainingまでの段階的な復職支援に加えて、男性医師によるサポータークラブという3つの取組みを含む非常にバランスの取れた計画です。本計画がきっかけとなり、多くの女性医師が活躍し、さらにそれによって男性医師にとっても働きやすい、また患者さんにより良い医療を提供できる病院になれば、と願っております。

岡山MUSCAT
最速助産師紹介サポートネットワーク
MUSCAT Will
家庭と何立可形な復職支援プログラム
講習会・イベント
女性支援情報
お問い合わせ

女性医師・医学生支援ネットワーク
MUSCAT WEB
仕事や家庭のこと、
気軽に相談ください

HOME 応援メッセージ 教授 横野 博史

臨床現場 **復職** をめざして、家庭と両立可能な復職支援プログラム



復職支援会議

MUSCAT Will

Woman's Interactive Lifelong Learning and working

短期トレーニングコース

ワーキングコース

各科1日コース

臨床技能速習コース

麻酔科1日コース

危機管理コース

週4日勤務

週1~3日勤務

岡山大学病院
コース

市中協力医療
機関コース

JUMP コース
週31時間勤務
オンコール・当直なし

STEP コース
週31時間未満
週15.5時間以上勤務
オンコール・当直なし

HOP コース
週15.5時間未満勤務
オンコール・当直なし

女性医師のスムーズな
職場復帰に向けて、家
庭との両立に配慮した
就業環境と臨床研修の
場をご提供頂ける医療
機関を募り登録。
ホームページで情報を
発信。キャリアセンター
が窓口となり相互の
マッチングを行う。

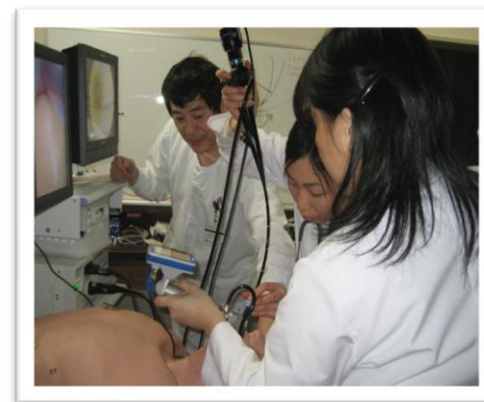
復職者の希望により
各科コースを開設

MUSCAT Will

復職支援の柱は
トレーニングと
柔軟な働き方が可能な
ワーキングコース

チーム医療シミュレーショントレーニングコース

	開催日時	参加人数
トライアル	2008/1/28	6
第1回	2008/2/27	5
第2回	2008/4/2	4
第3回	2008/4/30	3
第4回	2008/5/28	1
医師・看護師のチームによる チーム医療のシミュレーション		
第7回	2008/10/29	4
第8回	2008/11/17	1
第9回	2008/12/15	4
第10回	2009/1/26	5
合計		46



参加者の感想 ~アンケートより

- ・ 実践的な医療現場を想定したトレーニングで勉強になった。
- ・ 両立を模索しながら働く同じ立場の方との交流ができ、復職へのモチベーションがアップした。
- ・ 不安な気持ちが減り、復職への自信につながった。

ワーキングコース

Jumpコース

現場のニーズによって段階的に導入

診療科	復職者数
内科	3
皮膚科	1
産婦人科	1
小児神経科	1
放射線科	2
合計	8

※週32時間 勤務

現在の復職者は
総数45名
内科復職者8名中
腎臓内科医3名

Stepコース

診療科	復職者数
内科	2
精神科	1
皮膚科	1
眼科	3
産婦人科	2
麻酔科	3
神経内科	1
救急科	1
耳鼻咽喉科	1
合計	15

※週32時間未満、週16時間以上 勤務

Hopコース

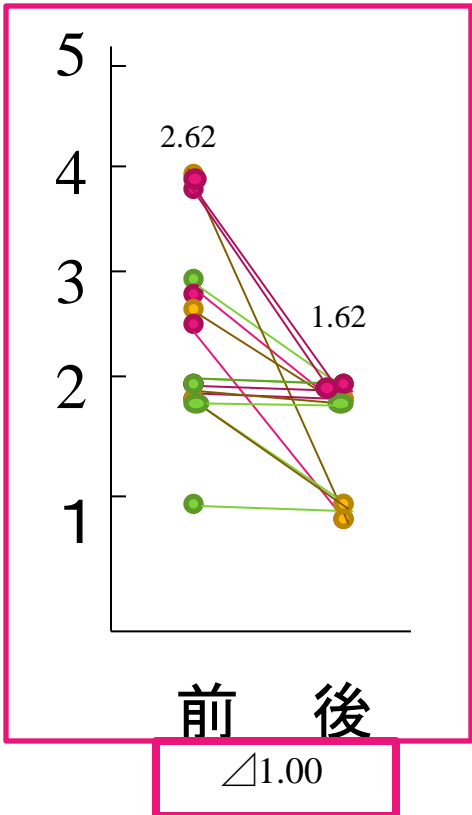
診療科	復職者数
内科	3
精神科	1
眼科	2
麻酔科	3
神経内科	1
泌尿器科	1
小児科	1
合計	12

※週16時間未満時間 勤務

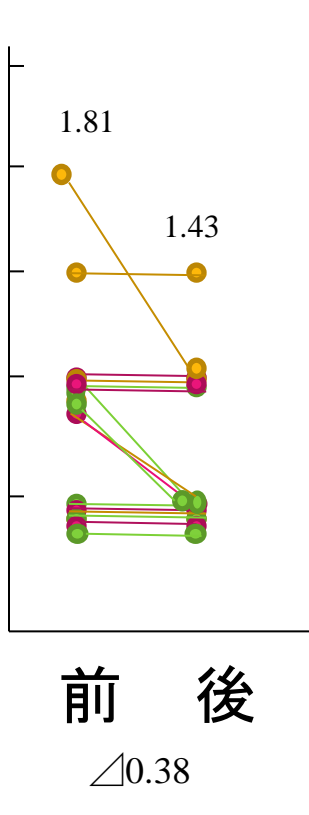
復職者アンケート結果より
 (平成21年度施行、回答数17名 回収率50%)

復職前後の意識の変化：理解

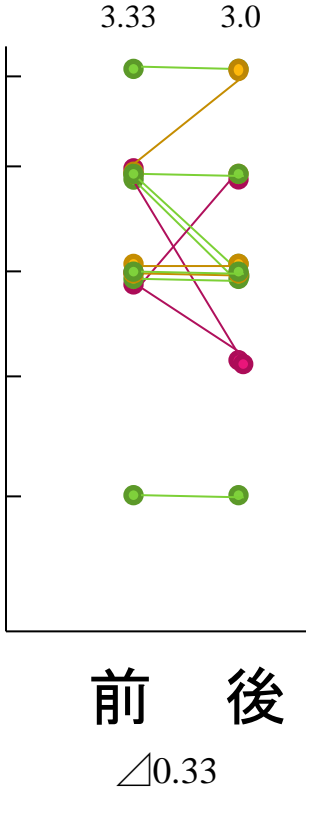
職場の理解
 が得られる



家族の理解
 が得られる



患者の理解
 が得られる

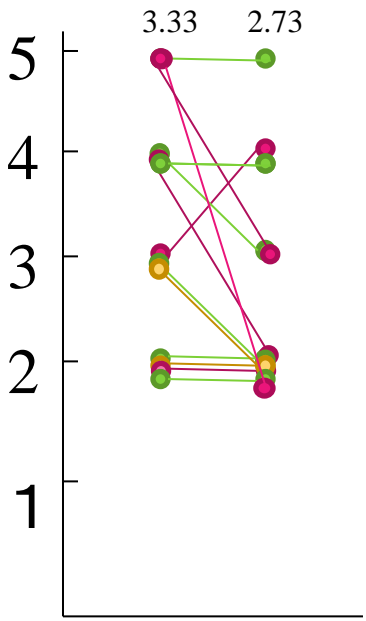


- 5 全くあてはまらない
- 4 あまりあてはまらない
- 3 どちらともいえない
- 2 ややあてはまる
- 1 とてもあてはまる



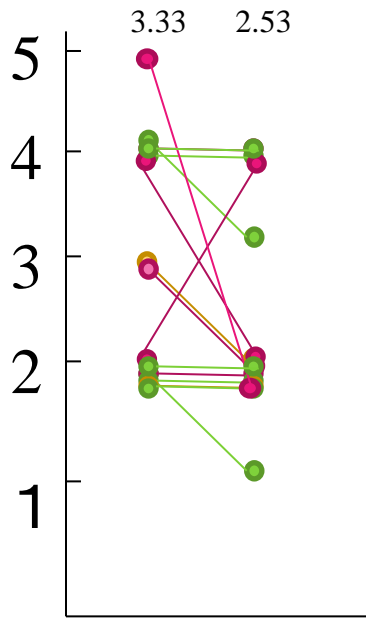
復職前後の意識の変化：支障

仕事に
支障なし



前 後
△0.6

家庭生活に
支障なし



前 後
△0.8

- 5 全くあてはまらない
- 4 あまりあてはまらない
- 3 どちらともいえない
- 2 ややあてはまる
- 1 とてもあてはまる



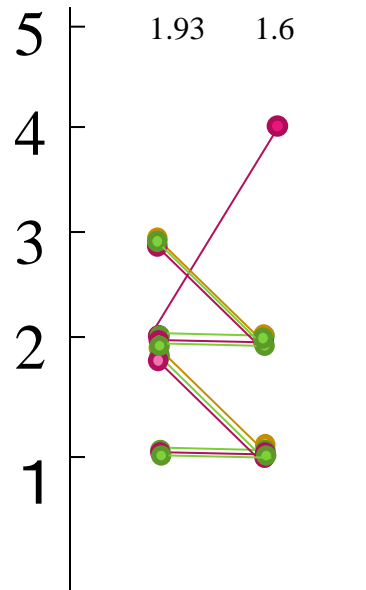
復職者アンケート結果より
 (平成21年度施行、回答数17名 回収率50%)

復職前後の意識の変化：メリット

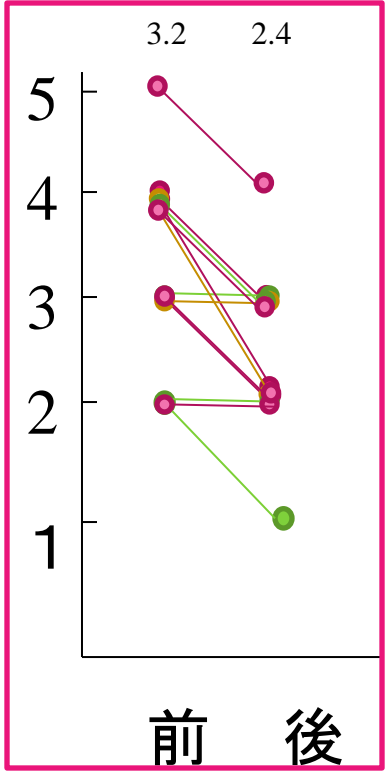
能力を高める
 ことができる

職場に貢献
 できる

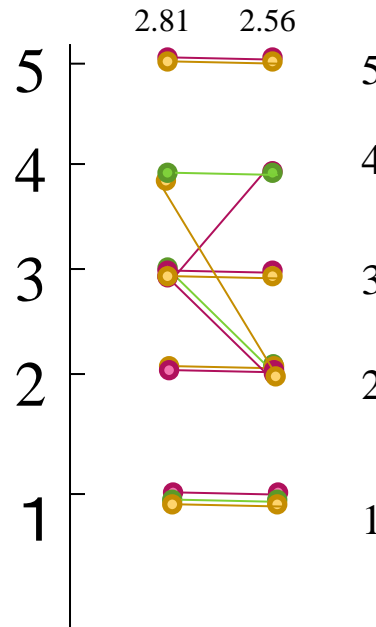
経済的な
 支えとなる



前 後
 $\triangle 0.7$



前 後
 $\triangle 0.8$



前 後
 $\triangle 0.25$

- 5 全くあてはまらない
- 4 あまりあてはまらない
- 3 どちらともいえない
- 2 ややあてはまる
- 1 とてもあてはまる



復職者から後輩へ

- ・ 離職していると、自分に自信が持てず、「どうせ役に立たない」など思ってしまいがちです。また、復職にも周りの協力が不可欠ですし、迷惑をかけることも多々あるので卑屈になりがちですが、**自分の復職で男性医師を含めた医療全体の待遇改善につながるんだ**と思ってほしいです。
- ・ あせらず10年20年先に、**あの頃は大変だったけど、充実した時期だったと胸を張って言えるよう、努力していきたい**です。
- ・ これからは、各々の経験を生かした多様なキャリア形成が可能だと思いますし、むしろ**医療は多様性（様々なバックグラウンドをもった医療従事者）に富んだほうが、良い医療を提供できる**と思います。どうぞ自分の才能を生かして、積極的に復職してください。

今後の課題

- ・ 女性医師支援にとどまらない男女共同参画社会の推進のために必要な環境とは
- ・ 臨床への復職支援のみならず女性研究者の支援をいかに行うか
- ・ 医師不足が深刻な地域や病院で真に貢献できる女性医師支援をどのように行うか

岡山県地域医療再生計画の取り組みとして
女性医師支援を継続することに
地域の病院との協力が今後の鍵に